

第33回 広島県学校歯科保健研究大会

大会要項



一般社団法人

広島県歯科医師会

2025年

目 次

挨 拶	1
一般社団法人広島県歯科医師会 会長 山崎 健次	
祝 辞	2
公益社団法人日本学校歯科医会 会長 枝植 紳平	
広島県教育委員会 教育長 篠田 智志	
開催要項	4
実践発表	5
「学校歯科保健の取組を家庭へ、そして生涯につなげていくために」	
広島県立庄原特別支援学校 養護教諭 松木めぐみ	
講 演	9
～歯科の世界はこんなに面白い～「動物の口はふしげがいっぱい」	
国立モンゴル医学科学大学 客員教授 岡崎 好秀	
参考資料	11
編集後記	12
一般社団法人広島県歯科医師会 理事 前島真紀子	
第89回全国学校歯科保健研究大会	13

挨 拶



一般社団法人広島県歯科医師会
会長 山崎 健次

第33回広島県学校歯科保健研究大会の開催にあたり、主催者を代表してご挨拶を申し上げます。本研究大会は、平成5年より学校歯科保健の一層の普及向上と、児童生徒の健康保持増進を目的として開催しております。今年度も、関係各位、後援団体及び協賛団体のご協力とご支援のもと、開催できることを厚く御礼申しあげますと共に、本日、県内各地よりご参加いただきました養護教諭を始めとする多くの学校歯科保健関係者の方々に心より感謝申し上げます。

さて、令和7年2月に文部科学省より令和6年度学校保健統計（学校保健統計調査の結果）の確定値が公表されました。調査結果のポイントとして、「むし歯の者の割合は、小学校・高等学校で4割を下回り、幼稚園・中学校で3割を下回っている」と報告されています。むし歯の発生率は年々減少し、過去最小値を更新し続けています。これは、学校関係者と学校歯科医の尽力によるものと実感しております。令和11年度目標である「12歳でう蝕がない人の割合を9割以上」の達成に向け、今後も両者の連携を一層強化され、引き続きご指導のほどお願い申し上げる次第です。

また、昨年度より広島県の委託を受け、「歯科から提案する食育検討会議」事業を実施しております。令和4年度の学校歯科保健実態調査では、食育に関して学校歯科医と連携を取っている学校が全体の1割にとどまる結果となりました。こうした状況を受け、本事業では、「食」を通じて口の健康の重要性を学ぶ機会を創出し、「食」と「口腔」に関する正しい知識を基礎としていることで、生涯にわたり健全な食生活を実践できる豊かな人間性を育むことを目的としています。具体的には、0歳児から3歳児を対象に口腔機能発達度の検査を含む歯科健診や保護者アンケートを実施し、口腔機能を育むために保育園で簡単に楽しく取り組める口腔機能発達不全予防策を紹介し、保健指導を行うことで食育の推進に貢献できるよう努めてまいります。

さらに、第89回全国学校歯科保健研究大会が35年ぶりに広島県で10月16日・17日の両日にわたり開催されます。特別講演には青山学院大学陸上競技部監督、地球社会共生学部の原晋教授をお迎えして特別講演をいただく予定です。全国各地から、学校歯科医、教職員など学校歯科保健関係者が一同に会し、学校歯科保健に関する研究協議を行います。広島県内の学校歯科保健関係者の皆様には、ぜひご参加いただき、今後の活動のさらなる発展と園児・児童・生徒の健全な育成につなげていただければと期待しております。

本年の実践発表は、広島県立庄原特別支援学校より松木めぐみ養護教諭をお迎えし、日本学校歯科医会【生きる力を育む歯・口の健康づくり推進事業】令和5年6年度の推進校として「学校歯科保健の取組を家庭へ、そして生涯につなげていくために」と題してご披露いただきます。

その後の基調講演では、国立モンゴル医学科学大学より岡崎好秀客員教授をお迎えし、「～歯科の世界はこんなにおもしろい～動物の口はふしぎがいっぱい」と題したご講演をいただきます。

いずれも、日々の教育や学校歯科保健活動に直結する貴重な内容となります。皆様の教育現場においてさらなる推進の一助となれば幸いです。

結びに、本研究大会が、ご参加いただいた学校歯科保健関係者にとりまして、実りある有意義な研鑽の場となりますことを祈願いたします。

祝　　辞



公益社団法人日本学校歯科医会
会長 柏植 紳平

第33回広島県学校歯科保健研究大会の開催にあたり、一言お祝いを申し上げます。

広島県は全国でも有数の教育県として有名で、その取り組みは常に全国から注目を浴びています。そうした中、本日、今大会が盛大に開催されますことは誠に喜ばしいことあります。また、本年10月には第89回全国学校歯科保健研究大会がここ広島の地で開催されることが決定しており、学校歯科保健推進の機運は大きく盛り上がっていることと拝察しています。

広島はこの夏、80回目の「原爆の日」を迎えます。私ごとではありますが、一昨年、広島サミット（G7）後に平和記念館を訪問する機会があり、再度詳しく学習したことで、平和への想いを強くしました。平和や幸福に対する皆様の想いは私より非常に強いと思いますが、健康はそれを実現するための重要な要素です。「健康は 歯から 口から 笑顔から」と言われるように、口腔の健康を実現することが平和や幸福への第一歩であると確信しています。

本大会が実り多きものとなり、学校歯科保健が一層推進されることを祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝　　辞



広島県教育委員会
教育長 篠田 智志

第33回広島県学校歯科保健研究大会が、県内各地から学校歯科医、学校関係者並びに保護者の方々の御参加を得て開催されますことを、心からお慶び申し上げます。また、御参加の皆様方には、平素から、児童生徒の健康の保持増進及び学校歯科保健活動の充実に向けて御尽力をいただいていることに対し、深く感謝を申し上げます。

学校における歯・口の健康づくりに関しては、むし歯の予防を中心とした取組が行われ、大きな成果を上げてきましたが、近年の子供の現状を見ると、咀嚼や口腔機能の未発達や口腔の疾病の増加などが指摘されており、その指導や対策についても、一層の充実が求められています。

県教育委員会では、生涯にわたって主体的に学び続け、多様な人々と協働して新たな価値を創造することのできる人材の育成を目指した「学びの変革」の取組を推進しています。取組の一つとして、リアルな体験とICT活用等による学びの充実を意識しており、学校における歯・口の健康づくりにおきましても、昨年度広島県歯科医師会が作成されたむし歯予防動画「教えて！はっぽくん むし歯予防ってどうするの？」の啓発資料を県内の小学生に配布するとともに、学校での歯科保健指導に活用できるよう、養護教諭の研修会で活用方法の工夫を周知する等、積極的に推進しています。

また、今年度は、第89回全国学校歯科保健研究大会が広島県で開催されます。シンポジウムでは、様々な分野の専門家からの歯科保健に関するお話、領域別研究協議会では、県内の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の5校（園）から実践発表があると伺っております。学校歯科保健の専門家の皆様や学校及び関係機関の皆様が集い、本大会が開催されますことは大変意義深いことであり、これを契機として、学校歯科保健のさらなる向上が図られることを期待しております。

御参加の皆様方におかれましては、児童生徒が歯と口の健康の大切さについて学び、生涯を通じて歯と口の健康を維持することができるよう、今後も御支援と御協力をお願いいたします。

終わりに、本大会の開催に御尽力をいただきました一般社団法人広島県歯科医師会を始め関係の皆様方に深く感謝を申し上げますとともに、大会の成功を祈念し、祝辞といたします。

第33回広島県学校歯科保健研究大会開催要項

1. 趣 旨

超高齢社会を迎えた今日、健康で豊かな食生活を送ることは、国民の等しく願うところである。こうした背景の中で、「歯・口腔の健康づくり」が国民の生涯に亘る健康増進の基礎となりうるであろう。特に、学齢期における歯科保健活動は、基本的な生活習慣の形成に重要な役割を担っている。

学校歯科保健活動は、8020に繋がる確かな健康観の育成を目指し、学校歯科医、教職員及び保護者が一体となって推し進めるものである。本大会の開催は、幅広い視点から研究・研鑽を深め、その一層の充実発展に寄与することを願うものである。

2. 主 催 一般社団法人広島県歯科医師会

3. 後 援 公益社団法人日本学校歯科医会

広島県学校保健会、広島県教育委員会、広島市教育委員会

広島県、広島市、広島大学歯学部、広島県PTA連合会

4. 協 賛 サンスター株式会社、ライオン株式会社、株式会社ロッテ

5. 開催日時 令和7年7月24日（木）午後1時30分～午後4時10分

6. 開催方法 対面形式

(会場) 広島県歯科医師会館 2F 「ハーモニーホール」

広島市東区二葉の里三丁目2番4号 (TEL: 082-263-8020)

7. 定 員 会場参加 120名

8. 参 加 者 県市町教育委員会職員、学校・幼稚園・保育所の教職員、保健所職員
歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士、PTA会員、学校歯科保健関係者

実践発表



「学校歯科保健の取組を家庭へ、 そして生涯につなげていくために」

広島県立庄原特別支援学校 養護教諭 松木 めぐみ

1 はじめに

本校は、豊かな自然に恵まれた広島県北部(備北地域)唯一の知的障害種の特別支援学校である。

児童生徒数は、94名の中規模校で、小学部から高等部までの児童生徒が在籍している。

学校教育目標は、「にこにこ のびのび こつこつと学び、社会に貢献する児童生徒の育成」とし、地域の特性を生かし、地域協働の取組を盛んに行っている。

令和5・6年度「生きる力を育む歯・口の健康づくり推進事業」の推進校に指定され、2年間重点的に歯と口の健康づくりに取り組んできた。

2 歯科指導における児童生徒の実態

本校は、小学部から高等部までの児童生徒が在籍しているため、口腔状態は、乳歯がまだ生え変わっていない段階の子、永久歯が生えそろい歯周疾患が疑われる子等幅広く、また、歯みがきも自分でできる子もいれば、支援があればできる子、全介助が必要な子等様々な実態である。

学校の歯科検診も容易に受けることができず、事前学習で見通しをもたせてから受けるようにしたり、歯鏡ではなく普段から使い慣れた自分の歯ブラシを使って受診したりする等、学校歯科医には障害特性を理解していただきながら、協力を得て検診を進めている。更に治療となるとハンドルが高くなり、麻酔を使用して治療するケースや場合によっては、すぐに治療ができないケースもある。

こうした児童生徒の実態から、教職員、保護者ともに「むし歯にならないようにしたい！」と願っている。しかし、日常の歯みがきの実態は、学年が上がるに連れて歯みがき習慣が崩れたり、みがいているが十分にみがけていなかったりする状況にある。

また、食べる機能も発達段階や障害によって様々で、捕食・咀嚼・嚥下が上手にできていない児童生徒もいる。本校は、継続的に外部講師として言語聴覚士を招聘し、口腔機能の発達段階と学校での給食の食形態が適合しているか評価していただいている。誤嚥の未然防止を図ることは基より、個に合った食形態食を食べることにより、長いスパンでみた時には機能が向上していき、食形態がステップアップしていくという方針により、本人が「安全に楽しく食事を摂ることができる」ようにしている。

「歯は一生もの」となるよう、将来できるだけ自分の歯で食べることができるとともに、楽しく会話することができるようにするために、保護者にも歯と口の健康維持のための日々の歯みがきや衛生維持の重要性を広めていく取組を行った。

3 歯科保健の目標

歯科保健に関する実態は、次のとおりである。

①歯科検診の受診率は高く、学校歯科医も児童生徒の検診や学校歯科保健の取組に協力的である。

②むし歯の保有率は低いが、学年が上がるにつれて、歯みがきが児童生徒の自己管理に任され

るようになるため、「歯垢・歯肉」の状態が悪くなる傾向にある。

③児童生徒の歯科受診に対する抵抗感が強く、治療を受けることが難しい。

④口腔機能の発達が十分ではない児童生徒がいる。

⑤保護者は学校の歯科保健の取組に対して協力的である。

そこで、この推進校の2年間の取組を行うことにより、生涯にわたって歯と口の健康を維持・向上できる知識と技能を本人および保護者が養うことができるよう、児童生徒の目標設定をした。

(1) 歯と口の清潔を保つため、歯みがきができるようになる。

(2) 生涯を通して歯と口の健康に関心をもち、歯みがきが習慣化し、健康づくりに取り組めるようになるとともに、歯科医を受診できるようになる。

(3) 構音機能、摂食機能の維持、向上を図り、日常生活を安全に心地よく過ごせるようになる。

4 実施した主な取り組み

(1) 学級活動（歯科指導）

歯と口の健康に関する授業を全学級で実施。

授業は、日常生活の指導、特別活動や保健体育、生活単元学習や自立活動を行い、歯みがきに関する指導等を行う。

①小学部

- ・全国小学生歯みがき大会に参加。
- ・歯みがきをがんばった児童には、広島県歯科医師会の啓発資料カード（「はみがき免許証」）を交付。
- ・小学部第4学年は、授業参観日に親子の歯みがき教室を実施。



【親子の歯みがき教室の様子
(学校歯科医、歯科衛生士)】



【広島県歯科医師会・啓発資料カード
(はみがき免許証)】

②中学部

- ・「噛むことの大切さ」をテーマにした栄養教諭とのTT授業を実施。
- ・給食で「かみかみ献立」を実施し、噛むことを意識して喫食するよう指導を行う。



【中学部・かみかみセンサー【中学部・給食の様子】
を使って噛む回数測定】

③高等部

- ・歯科医と歯科衛生士による歯と口に関する学習とブラッシング指導を実施。



【高等部・ブラッシング指導】

(2) 歯みがきカレンダー

夏季休業と冬季休業中に歯みがきカレンダーを配付し、毎食後歯をみがくことを習慣化。



【歯みがきカレンダー】

(3) 広島県歯と口の健康週間

高等部生徒が歯と口の健康に関する標語を作り作品応募。



【歯みがきタイマー】

(4) 養護教諭による指導

給食後の歯みがき巡回指導と歯みがきアセスメントを実施（年2回）。

前期の課題を教職員に周知し、後期の指導に生かすため、歯みがきタイマーと歯磨き手順カードを使用しての歯みがきに変更。



【栄養教諭が保護者に説明している様子】

(5) 栄養教諭による指導

- ・給食時間に、教室を巡回し食に関する指導の実施。
- ・保護者に給食試食会を実施し、給食の取組内容と食事の大切さについて説明。



【言語聴覚士による指導の様子】

普通食	きざみ食+ペースト食	1重ペースト	2重ペースト

【給食の食形態】

(7) 歯科医によるPTA研修会開催

「生涯にわたって歯と口の健康を維持するためには必要な口の衛生管理」と題して、研修会を開催した。

学校と家庭が協力して、歯と口の健康づくりに共通認識をもって取り組めるようにした。



【PTA研修の様子】

(8) 観察研修

養護教諭が障害者の歯科治療をしている県内の施設2か所で、観察研修を実施。



【歯科施設の観察研修の様子】

5 成果と課題

(1) 成果

- ・教職員が共通認識をもって取り組むことができた。
- ・児童生徒、保護者が歯・口の健康に関心をもち、意識した生活をすることができた。そのことにより、歯みがきに対する意識や手技の向上が図られ、習慣化しようとする姿勢が見られた。
- ・よく噛んで食べることが増えた。
- ・学校歯科医や言語聴覚士と連携し専門家から指導助言をいただくことにより、日常的な取組に生かすことができた。

(2) 課題

- ・歯に関心をもち、積極的に取り組んだことを学校でも家庭でも継続していくこと。
- ・卒業後も歯みがきが習慣化し、定期的に歯科受診ができ、口腔機能の維持、向上と歯の健康が保たれ、日常生活を安全に過ごすことができるようになること。

6 おわりに

学校歯科保健の取組が児童生徒の力となり、保護者や家庭の理解も得られ、協力していただいて、それが、生涯、歯と口の健康を維持、向上でき、生活の質の向上につながっていけばと願っている。児童生徒が、日常生活を安全に安心して心地よく過ごしていくように、これからも学校歯科保健の取組を行っていく。

松木 めぐみ（まつき めぐみ）プロフィール

1998年4月 広島県立庄原格致高等学校高野山分校 新任

2015年4月 現在校

広島県立庄原特別支援学校着任

講演



～歯科の世界はこんなに面白い～ 「動物の口はふしぎがいっぱい」

国立モンゴル医学科学大学 客員教授

岡崎 好秀

“野生動物は歯を失うと命にかかる”といわれます。歯科医師の立場からも、これは本当なのか？自分の目で確かめたいと思ってきました。

数年前、アフリカの大草原をサファリカーで走っていたら、ゾウの下顎骨が落ちていました。臼歯部の凸凹は、すり減ってありません。監視員は“このゾウは噛めなくなって死にました。”と言いました。まさに、この象は天寿を全うしたのです。

さて現在、日本人の平均寿命は男性約81歳・女性は約87歳（2020年）と、65歳以上人口が、全国民の21%を超える超高齢社会となっています。しかし、人間の社会だけでなく、動物園の動物達も高齢化が進んでいます。

一方で獣医師は、かつて見られなかった病気が増えていると言います。それが歯に関するものです。そこで動物を長生きさせるために、大型の肉食獣などは全身麻酔で、歯周病予防のため歯石を取りこともあります。

動物園では、昨日まで元気であった動物が、翌朝には死んでいることがあります。野生動物は、どれだけ体調が悪くても、他の動物に気づかれない様にしています。気づかれると殺されるからです。例えば、ライオンは、弱ったシマウマから襲います。動物園の動物も同じ習性があり、最後まで我慢し息絶えたのでしょうか。すると獣医師は、早く体調が悪かったことに気がつけば、助けられたのではないかと考えます。

では、体調の悪さは、どこを見ればわかるのでしょうか？それは“食欲”です。

そもそも、自然界には食物が少ないので、食欲がなければかなり体調が悪いのです。では、食欲がなければ、まず



ゾウの下顎の骨



どこを見ると 思います？

そこでまずチェックするのが“口の中”です。

そう！歯は“むし歯や歯周病になるため”や“磨くために”生えてきたのではありません。歯は獲物を捕らえ、噛むために生えてきたのです。

噛むことにまつわる話は、知ってそうで知らないことばかりです。そこには、一生健康で過ごすための知恵がたくさんつまっています。まさに“宝の山”なのです…ということで、今回は、動物を題材とし歯と口の健康について考えてみましょう。



岡崎 好秀（おかざき よしひで）プロフィール

1978年 愛知学院大学歯学部卒業 同年大阪大学歯学部小児歯科を経て
1984年～2014年 岡山大学病院 小児歯科 講師（歯学博士 岡山大学）
2013年4月より 国立モンゴル医学科学大学 客員教授
専門：小児歯科・障がい児歯科・健康教育
所属学会：日本小児歯科学会：指導医，日本障害者歯科学会：認定医，他

主な著書：

①世界最強の歯科保健指導 上・中・下巻 クインテッセンス出版 ②謎解き口腔機能学 クインテッセンス出版 ③小児歯科診療最前線！ 子どもを泣かさない17の裏ワザ クインテッセンス出版 ④口の中はふしげがいっぱい エピソードI・II・III・IV・V 松風 ⑤どちらが良い？ ヒトの歯・サメの歯 少年写真新聞社 他 多数

参考資料

広島県での学校歯科保健の取組みをより充実させるための教材として、予防動画「教えて！はっぽくん むし歯予防ってどうするの？」並びに「教えて！はっぽくん 歯肉炎ってなあに？」を作成し、「広島県歯科医師会公式YouTubeチャンネル」にて公開しております。

この動画は、生涯にわたる歯・口腔の健康について学び、実践することを目的としています。児童生徒および保護者の皆さまが家庭でご覧いただけただけでなく、学校現場での歯科保健活動時にもご活用していただける内容となっております。

動画の周知を目的として、令和6年に統一して令和7年4月にも広島県内の新一年生一人ひとりに対し、動画視聴用の二次元コードを掲載した【啓発用カード】を1枚ずつ配布しています。

また、【啓発用カード】の活用方法を記載した【ほけんだより】を広島県歯科医師会ウェブサイトに掲載しておりますので、今後の学校歯科保健資料として、是非ご活用ください。

なお、動画視聴後には児童生徒皆さまからの歯科保健に関する質問を公開サイトにて随時受け付けております。寄せられた質問の中から一部を選び、「教えて！野村教授（広島大学広島大学大学院医系科学研究科小児歯科学教授）」動画を同チャンネル内で随時公開いたします。

今後の更新を楽しみにお待ちください。

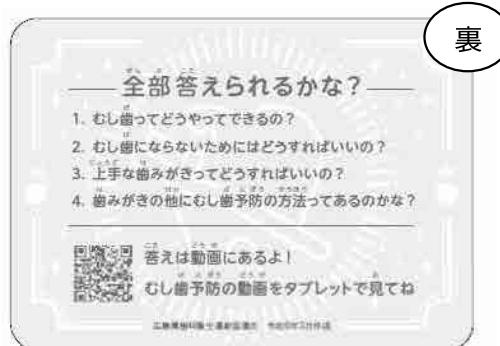
【ほけんだより】



【啓発用カード】



表



裏

県歯会ウェブサイト
啓発資料ページ



その他の啓発資料等につきましては、
広島県歯科医師会 HP 県民の皆様へ お知らせ一覧 母子・学校歯科保健よりご覧ください。

編 集 後 記

平素より、皆様方におかれましては、学校歯科保健の充実・発展のため、多大なご理解とご協力を賜り、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。また、各学校におかれましては、学校歯科健診及び学校歯科保健活動、昼食後の歯みがきやフッ化物洗口等、基本的な感染対策を講じながら実施していただき誠にありがとうございます。

広島県では、むし歯のない12歳児の割合が全国平均を上回っており、良好な状態を継続している一方、学校歯科健診で要受診となつても未受診の児童生徒が一定数存在し、特に歯肉炎に関しては受診の必要がないと判断されることもあると聞き及んでいます。

令和6年3月に策定された「広島県第3次広島県歯と口腔の健康づくり推進計画」における小・中・高等学校期の目標は、「12歳児でむし歯がない人の増加（令和4年度77.4%→令和11年度目標90%以上）」、「12歳児で歯肉に炎症を有する人の減少（平成28年度4.1%→令和4年度2.8%→令和11年度目標1%以下）」とし、その目標達成のための指標として、「歯科医療機関で歯みがきの個人指導を受ける人の増加（令和4年度60.5%→令和11年度目標70%以上）」としています。これらを実現するためには、学校歯科医と養護教諭等学校関係者とのコミュニケーションをさらに密にし、むし歯対策のみでなく歯肉炎に対する取組も強化することが重要です。加えて、地域差や家庭の事情による健康格差を減少させる方策を検討し、実施することが必要と考えます。

本会での取り組みの一環として、令和5年度には広島県歯科医師会公式YouTubeチャンネルにて「教えて！はっぽくん むし歯予防ってどうするの？」を開始し、令和6年度には「教えて！はっぽくん 歯肉炎ってなあに？」など4本の動画を追加公開しました。児童生徒が歯と口の健康について、むし歯だけではなく歯肉炎についても詳しく楽しく学ぶ歯科保健教育の「教材」として活用可能な動画となっています。是非ご視聴いただき、ご活用くださいましたら幸いです。

さて、今大会の実践発表では、広島県立庄原特別支援学校養護教諭の松木めぐみ先生が「学校歯科保健の取組を家庭へ、そして生涯につなげていくために」と題し、また、基調講演では、皆さまご存じの国立モンゴル医学科学大学客員教授岡崎好秀先生に「～歯科の世界はこんなにおもしろい～動物の口はふしぎがいっぱい」と題して、わかりやすく解説していただきます。学校関係者、学校歯科医にとって、実践的で非常に参考になるお話を思います。

また、本年10月16・17日には広島国際会議場にて「第89回全国学校歯科保健研究大会」が開催され、特別講演やシンポジウム、領域別研究協議会等を熱く濃く企画しております。全国大会の開催が広島県にとって、学校歯科保健をさらに活発にさせる機会になると確信しております。たくさんの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

最後になりましたが、本大会開催に際し、ご協力いただきました関係各位に感謝いたしますとともに、今後も引き続き本会諸事業にご支援ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

一般社団法人広島県歯科医師会 理事 前島 真紀子

第89回

広島県

全国学校歯科保健研究大会

口腔から全身の健康づくりを目指して
学校歯科保健が育む学びと笑顔

会期

2025年 10月16日^{THU}木・17日^{FRI}金

会場

広島国際会議場



特別講演 原 晋氏

青山学院大学 陸上競技部監督、地球社会共生学部教授



主催

文部科学省／公益社団法人 日本学校歯科医会／
公益財団法人 日本学校保健会／広島県／
広島県教育委員会／広島市／広島市教育委員会／
一般社団法人 広島県歯科医師会

大会事務局

公益社団法人 日本学校歯科医会
一般社団法人 広島県歯科医師会

お問い合わせ



Web



Mail

2025年
10月16日(木)
12:00～17:00

【開場】11:30
【開会式・表彰式】12:00
【アトラクション】13:20
広島県立吉田高等学校 神楽部

【特別講演（県民公開講座）】

講師 原 晋 氏（青山学院大学 陸上競技部監督、地球社会共生学部教授）
『なぜ青学大は駅伝強豪校へと成長したのか～覚悟と挑戦～』

【シンポジウム】

テーマ：口腔から全身の健康づくり
「くう・ねる・まなぶ・カラダうごかす」を学校歯科保健で育む

基調講演：「ねる」を育む
睡眠歯科で子供たちの心身を育む
…………大阪歯科大学附属病院 睡眠歯科センター 講師 奥野 健太郎

シンポジウム1：「くう」を育む
給食を通して考えるお口の機能の発達…………日本学校歯科医会 理事 土岐 志麻
シンポジウム2：「まなぶ」を育む
学校歯科保健の充実のために…………春日部市立上沖小学校 栄養士 石崎 真由美
シンポジウム3：「カラダうごかす」を育む
スポーツを安全に楽しむため…………スポーツ庁政策課 教科調査官 綱島 育

2025年
10月17日(金)
10:00～12:20

【開場】9:30

【領域別研究協議会】10:00
幼稚園・認定こども園・保育所部会
小学校部会
中学校部会
高等学校部会
特別支援教育部会

大阪市立北中道幼稚園
田辺市立本宮小学校
川口市立安行中学校
太田市立太田高等学校
岐阜県立中濃特別支援学校
広島市立八木幼稚園
尾道市立西藤小学校
福山市立一ツ橋中学校
広島県立安西高等学校
広島県立庄原特別支援学校



【受付開始】

2025年
5月7日(水)10時～

申込フォーム



はうる博士 はあまるくん はびねずちゃん
日本学校歯科医会 公式マスコットキャラクター

領域別研究協議会では、各領域に分かれ、アドバイザーによる講演、日本学校歯科医会および開催県より選出された学校（園）による取組の研究発表、ディスカッションが行われます。

学校歯科保健活動に明日からすぐに活かすことができる実践的な内容です。

ポスター発表は
10月16日(木)～17日(金)の2日間
開催します。



広島県歯科医師会 イメージキャラクター



広島県歯科医師会 Instagram



YouTube

第89回全国学校歯科保健研究大会





全国小学生 歯みがき大会



全国小学生歯みがき大会は、
小学生の歯と口に対する健康意識を育むことを目的に、
毎年「歯と口の健康週間（6月4日～10日）」にあわせて開催しております。
参加小学校に教材を提供し、
収録した大会DVDで参加いただく事ができます。
日頃の歯科保健指導の一環として、ぜひご活用ください。

DVDで
参加する
歯みがき大会



開催概要

大会期間

2026年6月上旬予定

参加対象

小学校5年生

※4年生・6年生でも参加いただけます。
※いずれか1学年の参加となります。

参加費用

無料

※使用する教材（児童用ドリル、歯ブラシ、デンタルフロスなど）も無償で提供いたします。

定員

2025年10月中旬より、

歯みがき大会サイトにて告知予定

申込期間

申込方法

ライオン歯科衛生研究所のホームページよりアクセス

<https://www.lion-dent-health.or.jp/>

ライオン歯科衛生研究所

検索



※開催概要是、変更になることがありますので、予めご了承ください。

※2025年10月中旬より、全国小学生歯みがき大会サイトに「第83回 全国小学生歯みがき大会」に関するご案内を掲載いたします。詳細は、全国小学生歯みがき大会サイトにてご確認ください。

主催：(公社)日本学校歯科医会 / (一財)東京都学校保健会 / ライオン株式会社 / (公財)ライオン歯科衛生研究所

後援：文部科学省 / 東京都教育委員会 / (公財)日本学校保健会 / (公社)日本歯科医師会 / (公社)東京都歯科医師会 / (公社)東京都学校歯科医会
(公社)日本歯科衛生士会

※記載団体は第82回大会のものです。

お問い合わせ先

公益財団法人ライオン歯科衛生研究所 〒111-8644 東京都台東区蔵前1-3-28

03-6739-9001

6480@lion.co.jp

SUNSTAR

Brand New on June 21st

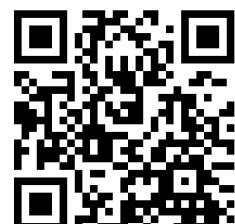


BUTLER

すべてはオーラルケアがつづくために

BUTLERは「プロフェッショナルケア」と
「セルフケア」のためのブランドです。
適切なオーラルケアが途切れることのない未来を、
みなさんと一緒につくりていきます。

詳しくはBUTLER
ブランドページをcheck



製品についてのご質問・ご不明な点は、下記へお問い合わせください。

サンスター株式会社

〒569-1195
大阪府高槻市朝日町3番1号
TEL:072-682-4733(受付時間:平日9:00~17:00)
FAX:072-684-5669

Club Sunstar Pro

サンスターと医療従事者の声でつくる会員サイト
商品情報はClub Sunstar Proからもご覧いただけます。



④登録商標。BUTLERは登録商標です。 2407HR作成

生活習慣を形成する時期である

小学校低学年対象

*1年生または2年生のいずれか
1学年でお申し込みください。

お 口 の 恋 人

LOTTE

めざせ! がむことマスター

まいにち かんで げんき いっぱい!

教材提供
無 償

「毎日よく噛む」習慣化のきっかけ をつくる学校提供教材

特長
1

楽しく学ぶ

噛むことの効果や噛み方について
動物たちと一緒に学びます。

覚えやすく
何度も声に出したくなる
キーワード

かむときの①②③

1
みぎとひだりの
おくばで

2
たべものがちいさく
なるまで
30かい

3
あしをゆかに
せなかを
まっすぐ

よく噛むと
どんないいことが
あるのかな?



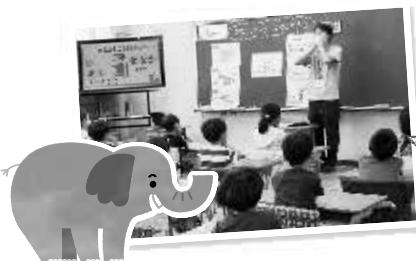
◀スライド教材

▲児童用ワークシート

特長
2

どのくらい噛めているかを 色で確かめる

咀嚼力をチェックする特別なガムを使い、色の変化で「今の自分の噛む力」を確認。「やった!できた!」という気持ちから、実践への意欲を高めます。



〈咀嚼チェックガム〉
児童数分お届け



特長
3

おうちの人と一緒に学ぶ



「かむことのひみつ(効果)」をおうちの人と学べる
ワークシートや、一緒にチャレンジできる咀嚼チェック
ガムもご用意。



◀児童用ワークシート



1日1つ扉を開いて

おうちの人と確認

5日間

本プログラムは、学校からのお申し込みのみ、受け付けています。

団体や個人からのお申し込みは受け付けておりません。ご利用を検討される場合は、プログラム紹介サイトを関連する教職員にご案内ください。

詳細はプログラム紹介サイトをご覧ください。

<https://teacher-site.net/lotte/kamukoto/>



教材の活用やアレンジに関する
ちょこっと アイデア!
紹介中!

お申し込み・お問い合わせ先

株式会社ロッテ 教育支援事務局
(株式会社キャリアリンク内)

TEL:06-7777-4111

(月~金(祝日を除く) / 9:30~17:30)



広島県歯科医師会イメージキャラクター「はっぽくん」